

内容紹介 (抜粋)

地域の文化は、地元民の手で守り残す!

宮城県亶理郡山元町民の手による、伝染病の終結に心血を注いだ赤痢菌発見者の志賀潔博士についてのお話し本です。

総頁数は、博士の享年に合わせて88頁。

表紙絵も、町の障害者施設ポラリスの画伯が描く博士の散歩姿。

志賀博士は第二次世界大戦直後から、山元町の磯浜に建てた別荘に暮らして終の棲家とした。

ご家族は次男夫婦と5人のお孫さん。

ここは太平洋岸の風光明媚な高台。しかし、東日本大震災の津波に流された地帯で、別荘は現存していない。

津波で景色が一変してしまったからこそ、コロナ禍の今だからこそ!博士と同じ土地に住み、町の文化・文化財を大切に思う地元町民は、博士のことを風化させずに記憶にとどめ刻み残したい。志賀潔の業績をその人柄を含めて知る人は、地元にもいや日本中に少なくなっている。

そこで、山元町の文化財「大條家ゆかりの茶室」の保存活動をしてきた「山元いっつ茶組」が、「亶理聞き書き隊」の協力も得て、町の人達の話聞き書きして本にまとめようとなった。

- ・地元中心に約30名の方々のお話と寄せられた文章
- ・志賀潔博士の業績やエピソード・秘蔵写真も豊富

宮城県山元町の磯浜を終生の地とした
赤痢菌発見者 志賀 潔とささえた家族

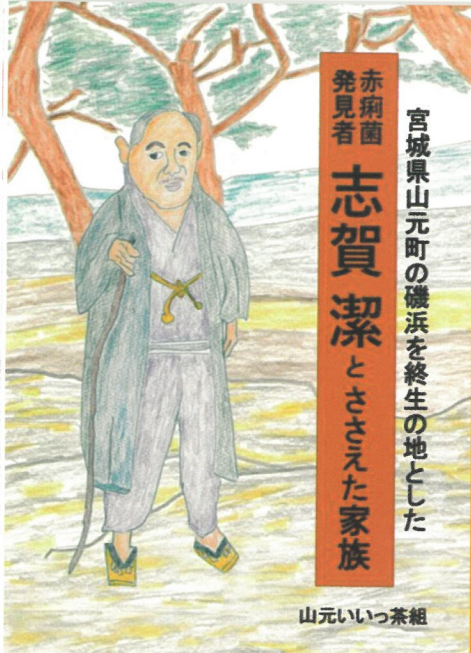
価格 1,300円 (税別) 1,430円 (税込)

発行 山元いっつ茶組

編・著 宮城県亶理郡山元町 Tel.090-2528-6107

出版社 NextPublishing Authors Press

寸法 A5版



3つの章扉は平福百穂の日本画(カラー)

* 博士の次男夫人の父



志賀博士のお付合い



細菌学者 志賀博士



提供: 仙北市立角館町平福記念美術館

聞き書き

売上金は

山元町文化財「大條家ゆかりの茶室」修復・保存のための
寄付金として 役場に届けさせていただきます

仙台藩の藩医だった志賀家は、「茶室」の持ち主である山元町の養首(みのくび)城主、
大條家(おおえだけ)のお抱え医師だった田原家とは、代々大変懇意
ここ磯浜に案内された志賀潔博士は別荘を即断した

パソコンかスマホから、Amazon書籍(ネット販売・初回送料無料)で購入できます

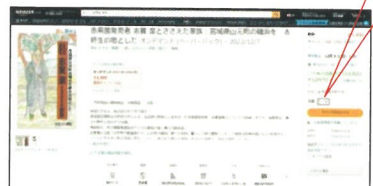
* 書店での販売はありません ご不便おかけします

本・書籍 | Amazon - アマゾン

タイトル名(の一部)
を入力



購入画面 (2022/12/7発売開始)



冊数
を入力